

農研機構機能性成分統合データベース公開

— 農産物の機能性成分含有量を調べることができます —

成果の特徴

- ・ 農研機構では、「農研機構機能性成分統合データベース」として、農産物の機能性成分の含有量データを10月に公開予定です。
- ・ 以下のURLのフォームから登録申請をすれば、どなたでもお使いいただけます。

<https://forms.office.com/r/ZWX29ym9hZ>

こちらのQRコード→

からもアクセスできます



成果の内容

・ **農研機構機能性成分統合データベース**は以下の2つのデータベースから構成されており、機能性成分含有量の分析値だけでなく、その成分が有する健康機能についても調べることができます。

1. 「FIDB」には、

NARO島津ラボ共同研究および

内閣府 第2期戦略的イノベーション創造プログラム(SIPII)「スマートバイオ産業・農業基盤技術」の中の「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」(2018~2022年度)

において取得されたデータを掲載しています。

2. 「農作物の機能性成分・評価情報データベース」には、

農研機構「機能性をもつ農林水産物・食品開発プロジェクト」および農研機構第4期中長期計画における試験研究成果と、農林水産省委託プロジェクト研究「市場開拓に向けた取組を支える研究開発」のうち「地域の農林水産物・食品の機能性発掘のための研究開発」(実施期間 H28~R2)において取得されたデータが掲載されています。

想定される用途・連携希望先

機能性表示食品の開発に向けた品目や品種の選定、その他健康機能性を利用した献立、食事メニュー開発等への利用が想定されます。

※本研究は、農研機構・島津製作所共同研究(第2期 2022~2024)「機能性成分含有農作物の機能性成分分析及び分析前処理技術の開発。分析結果を基にしたデータベースの構築とその活用による社会実装」により、行われました



担当研究者：○石川 祐子・山本 万里
所 属：食品研究部門
食品健康機能研究領域